

高次脳機能障害研修会

無料

高次脳機能障害は、脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)や脳外傷(交通事故や転倒転落事故など)のあと、記憶ができない、仕事ができない、計画的な行動ができない、疲れやすい、ついついイライラして大声をあげてしまうなど、認知機能に支障をきたす障害です。

今回、高次脳機能障害支援に長年携わっておられる渡邊修教授に高次脳機能障害について解説していただくと共に、さいたま市見沼区で高次脳機能障害支援に取り組んでおられる茂木有希子氏に、高次脳機能障害の方への支援を通して見えてきた、高次脳機能障害支援の現状と課題、そして展望をお話しいたします。

日時：令和6年2月18日(日) 午後1時から午後4時半

場所：浦和コミュニティーセンター 第13集会室
(浦和駅東口前、さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ10階)

プログラム：

- 13:00～13:05 はじめに
NPO法人 地域で共に生きるナノ
- 13:05～14:05 高次脳機能障害について
渡邊 修 氏
東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科 診療部長
東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 教授
- 14:15～15:35 高次脳機能障害支援の実際
茂木 有希子 氏
(株)ハート&アート(共生・多機能型デイサービス ダイアリー)代表
作業療法士
- 15:35～16:30 質疑 (司会と講師お二人の話を中心に)

定員：80名 (※ 先着順)

対象：高次脳機能障害支援について関心のある方

主催：NPO法人 地域で共に生きるナノ
埼玉県三郷市戸ヶ崎 2-374-1 (お問い合わせ：090-4759-7156)

共催：埼玉県、さいたま市

※ 本研修会は、NPO法人地域で共に生きるナノが埼玉県から受託している「高次脳機能障害ピア・カウンセリング事業」の一環で実施します。